

標 題： Validity and reproducibility of a food frequency questionnaire focused on Mediterranean diet for the Quebec population  
ケベック州住民における地中海食事に注目した食品頻度アンケートの  
妥当性および再現性

---

著 者： J. Cantin, et al. (カナダ モントリオール大学  
予防・身体活動センター モントリオール心臓研究所)

---

掲 載 誌： Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 26(2): 154-161 (2016)

---

要 旨：

背景と目的： 心臓血管系疾患の一次および二次予防における地中海食事の有効性を評価するランダム化臨床試験を実施するために、住民および食習慣に独特な認証済の食事評価方法が必要である。

そのため我々の研究の目的は、ケベック州住民の内で地中海食事に注目したフランス語の半定量食品頻度アンケート(FFQ)の再現性および相対的な妥当性を評価することであった。

方法と結果： 19-86歳で冠状動脈性心疾患が有無の参加者53人を募集して、クロスオーバー法でランダムに3グループに分け、グループ毎に2回のFFQおよび食事記録(DR)の順序を変えた。

FFQは157品目の食品を含み1ヵ月にわたる食品摂取を測定するように設計された。

それを3-5週間離して2回実施して再現性を評価し、12日間の食事記録と比較して妥当性を評価した。

再現性について(n=47)、エネルギーおよび33栄養素に関するクラス内相関係数(ICCs)は0.38から0.91の範囲であった(平均0.63)。

妥当性について、食事記録と食事記録前のFFQとの間のピアソンの相関係数は0.26から0.84の範囲であり(平均0.55)、ICCsは0.25から0.84の範囲であった(平均0.54)。

食事記録と食事記録後のFFQについて、ピアソンの相関係数は0.36から0.83の範囲であり(平均0.55)、ICCsは0.36から0.83の範囲であった(平均0.53)。

結 論： ケベック州住民でこのFFQは、地中海食事の大部分の重要な栄養素について良い再現性および妥当性を実証した。

著作権 2015： イタリア糖尿病学会、イタリア動脈硬化研究学会、イタリアヒト栄養学会、Federico II 大学 臨床内科・外科学部。Elsevier B.V.が出版。著作権所有。

キーワード： 食事記録、食品頻度アンケート、地中海食事、再現性、妥当性

---